

6月2日（土曜日）13時から16時まで、外国人講師によるレクチャーおよび公開レッスンを実施した。（会場はB225）

今回来校したのは、元AKBの渡辺麻友が主演を務めたフジテレビ主催ミュージカル「アメリ」の作詞脚本家ネイサン・タイセン氏とその妻であるミュージカル作詞作曲家ケイト・ケリガン氏。通訳と司会進行は、ダイアナ・ボール教授、マリタ・ストライカー准教授。ピアノ伴奏は篠原真。受講生はオーディション実習を履修している学生を中心に約50名。前半は、2人のプロフィール紹介、仕事に関わった作品の解説、そして現在のブロードウェイミュージカルの潮流、今後の展開などをレクチャーしていただいた。



後半には、成績優秀学生8名の公開レッスンが実施された。

受講曲は、「If Then」「Song for a New world」「Modern Millie」「Natasha Pierre」など。夫妻とも言葉を仕事にしているだけあり、歌のテクニックというより、歌詞に対するアプローチや自分をどう魅せるか表現するかなどのアドバイスをしていただいた。また、歌うこと演じることも大切だが、音楽理論や楽曲分析もしっかり学んで欲しいというリップサービスもあり、大変有意義な時間であった。その後、質疑応答が行われ、最後にケイトが自作曲を一曲披露してくれた。そのエネルギッシュなキャラクターと歌声により、会場は和やかな雰囲気包まれた。実りのある公開講座であったと思う。